

## 医薬品、医療材料の提供について

東北大学産科婦人科からの要請により、福井大学宮城県亘理町医療救護班チームが3月18日に東北大学病院に立ち寄り、分娩用具一式を提供しました。東北大学病院正面玄関では、福島第一原発事故を受け、職員が原発事故被災地域からの避難者を確認する作業に当たっていました。同院周産期センターにおいて、本学附属病院産科婦人科 小辻教授より東北大学医学系研究科周産期学分野 八重樫教授宛に託された分娩用具一式を渡し、東北大学を中心とした産科医療に対する支援を行いました。

また、被災地からの患者受入れのための医薬品不足を来たしている新潟大学から要請があり、3月22日に金沢大学、富山大学と合同して透析用医薬品等の提供を行いました。



(東北大学病院正面玄関での確認作業風景)



(東北大学病院 周産期センター)